2026 年 10 月 29 日

「 子 どもたちを薬 物 から守 るために」

林　　但

武山中学校校区の青少年育成推進の会は、毎月の定例会の他に 3 ヶ月ごとに、地域の各種団体の方も交えて「青少年育活動地域連絡会」を行っています。今年度 2 回目は通常の連絡会を 30 分ほどにして、表記の講演会となった。10 月 28 日（水）武山市民プラザには、校区内の小中学校の校長先生、町内会長、町内青少年育成担当者、関係団体（林も体育振興会長として）、PTA 会長、青少年育成推進委員などで、他にも関心ある学童放課後サービス？　大楠地区の育成推進委員の方などが集まりました。

講師は寺本博氏（元小学校校長、現在は神奈川県麻薬薬物相談員理事）です。薬物の知識・薬物の害と子どもたちを薬物から守るために、家族の支え、地域の見守り・気づきなどについて 1 時間ほどお話していただきました。

広島東洋カープが 10 月 1 日、指定薬物など関係して主力選手など 4 選手と来シーズンの契約を結ばないことを発表したことが記憶にもありました。講演の中で気になった事、感じたこと他は以下の通りです。

- 薬物には、薬（クスリ）、役立たない、身近な酒タバコがあるという話から始まりました。正しい薬の飲み方と続き、クスリは逆から読むとリスクとなる。だんだん薬物についての生々しい話になっていきました。
- R7年に検挙された人の73%が29歳以下の人である。近年中学生や高校生が急増している。
- 大麻が若者に増えている、中学生300名に1名。
- 薬物はやめられない！
- 甘い誘いに注意が必要、「みんながやっている」「ちょっとだけ試してみろ」「痩せられて、肌がきれいになる」・・・等が紹介された。
- 誘いに言葉にだまされない「嫌だ！」ときっぱり断る勇気　大切な自分を守る事。
- 専門家に相談しよう
- 人に迷惑をかけないなら薬物OKと考えている人5%あり。
- 家庭・幼児期の逆境環境、学校生活・・・・　**地域で見守り、子どもの話を聞く、他人と比較しない、ほめる、叱る**・・



開会の挨拶



講演の場面